

(別添3)保護者交流会「陽だまり」事業結果

回	ねらい	内容および講師	参加者数					結果
			家族数	内訳 父母等	本人	兄弟	その他	
1	児の個性を知る。現状の受け入れ。	「子どもの発達と育児について」 阿南共栄病院小児科 上田 隆先生 * 母子同室で託児(スタッフ)	5 家族・ 9名	6名	2名		1名 (幼稚園教諭)	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所は現在、直接関わっている障がい児ケースがないため、対象者の選択と参加勧奨を市町や小松島療育センターを中心とする関係機関に依頼しており人数集めに苦慮した。(共催として阿南市、那賀町へ依頼) ・参加者の年齢や障がいは多様であったが、講師からは共通の話題以外に、各人に応じた内容を盛り込んで話していただけた。 ・勉強会が予定より長引き、全員で交流会をする時間までは持てなかったが、個別相談の待ち時間等に保護者同士で話ができていた。
2	児への基本的な接し方、育児の姿勢について理解する。	「育児を楽しもう!!」 発達障害者支援センター 荒木圭祐先生 * 母子別室で託児(スタッフ)	7 家族・ 13名	7名	3名	3名		<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会は障がいの有無にかかわらず、子どもの発達の特徴を捉えて子育ての基本から始まり、日常の育児の中でのちょっとした工夫や母親のストレス解消等についても言及された。 ・座談会は一人一言ずつは発言があった。(1名を除き全員が今回初参加)兄弟の利点と子育ての苦労や、次の子の障がいを心配し下の子は生まない等、様々な話題が出てきた。 ・個別相談は療育や就学等に関する内容が多かった。7人中5名が希望したため時間的に長引いたが待ち時間に母親同士や母とスタッフが会話することができた。 ・今回は直前まで参加者が把握できなかったため、託児(外部依頼)が間に合わず、スタッフのみの保育となった。乳児～4歳児で多動な児もおり、スタッフのみの保育は大変であった。
3	不安の軽減や相談相手を増やす	「先輩ママの体験談」 阿南那賀心身障害児親の会 (太陽の会)会員 5名 * 母子別室で託児(他機関依頼+スタッフ)	3 家族・ 6名	3名	1名	2名		<ul style="list-style-type: none"> ・参加予定者が急用で欠席するなど参加者が3家族と少なかったが、太陽の会から5名の会員が来てくださり内容の濃いものとなった。 ・幼児期～就学先を決めるまでのことや、生活能力を獲得させるための家庭での関わり、将来の就職について等盛りだくさんでパワフルな内容だった。 ・会員の子どもの幼少期に使われた手作りの絵カードを持って来てくださり希望者には渡すなど、即使える物の提供もあった。 ・複数の会員の出席だったため母のタイプによって子どもへの関わり方など差があつて良かった。 ・最後には「将来のことも気になるし大事なことだが、今は精一杯子どもをかわいがって愛情を注いでほしい」という会員からの言葉もあった。参加した「陽だまり」の母からは「いろいろなことが聞けて来て良かった」との声が聞かれた。
4	楽しく交流する	イベント参加(阿南那賀心身障害児親の会クリスマス会) *「サポーター育成講座」受講者「太陽の会会員」との交流	8 家族・ 29名	12名	8名	9名		<ul style="list-style-type: none"> ・「陽だまり」の参加者が30名近くと多く、例年の太陽の会クリスマス会よりも賑やかなものとなった。参加された親子はみな表情も良く、ゲームや歌、サンタさんの登場など楽しい時間を過ごせていた。サポーターとの交流もできていた。 ・太陽の会の役員も会の準備や当日の進行など大変であったが、「陽だまり」の参加者やサポーターを快く受け入れてくださり、次回の会行事である茶話会の案内チラシを渡し会のPRをされていた。 ・これをきっかけに「陽だまり」の保護者で希望者があれば太陽の会への参加に繋がることも考えられる。

回	ねらい	内容および講師	参加者数					結果
			家族数	内訳				
				父母等	本人	兄弟	その他	
5	遊びを通じ親子で楽しむ	「楽しく遊ぼう!!」 小松島療育センター 杉本ひとみ先生 *「サポーター育成講座」受講者との交流	6家族・13名	6名	5名	2名		<ul style="list-style-type: none"> ・多動の子どもが若干名おり、全員が遊びに集中することは難しかったが、講師は数々の手遊び、歌遊びを準備していただき全員参加することができた。 ・サポーターも補助的に母について一緒に参加してしてもらえ、「勉強になった」「仕事の場で活かしたい」等の声が聞かれた。 ・「陽だまり」参加者と地区活動をしているサポーター、小松島療育センターとの顔つなぎの場ともなり今後の関係に繋げることができた。
6	仲間づくり	「親子でキラリ!きれいな歯」 阿南保健所嘱託歯科衛生士 楠原ゆみ * 母子別室で託児(他機関依頼)	4家族・8名	5名	3名			<ul style="list-style-type: none"> ・可能な児は母子分離して、ゆっくり歯科の講義や座談会を持つことができた。 ・歯の健康は第3回目親の会会員の体験談の中でも「大切なこと」と参加者にアドバイスがあったため、当初プログラムにはなかったが急遽歯科に関する内容を盛り込むこととなった。 ・歯科はどの子にも共通する内容であり、参加者にとっては関心が深く質問もよく出ていた。また、RDテストなど実際に母自身が実験してみることで興味深く参加できていた。 ・座談会では次年度の子どもの処遇や、日頃子育てする上での悩みなどの話題が出てよく話ができている。参加者の人数的にも話しやすい数であった。 ・参加された祖母の立場から自身の子育てでは気付かなかった孫育ての中で気付いたことを話していただき参加者も熱心に聞かれていた。
7	仲間づくり	保護者交流会(おしゃべり会)	3家族・6名	3名	3名			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを同室で遊ばせながらの座談会形式で実施した。 ・療育機関の行事と重なったことによる欠席もあり参加者は少人数であったが、ゆっくりと話せ、交流の場が持てた。 ・次年度は、保育所入所、療育機関通園等それぞれ新たな方向性が決まっている。 ・次年度以降、親の会(太陽の会)行事案内については、児の状況や母の受け入れ等を考慮しながら、必要な人には個別で連絡する。 ・座談会内容 <ul style="list-style-type: none"> 子どもの成長や育児の悩み、ケガや事故防止のこと 母親自身の健康管理(がん検診等) 保健所での定期相談(親と子の心の相談室、女性)の健康相談)紹介 等